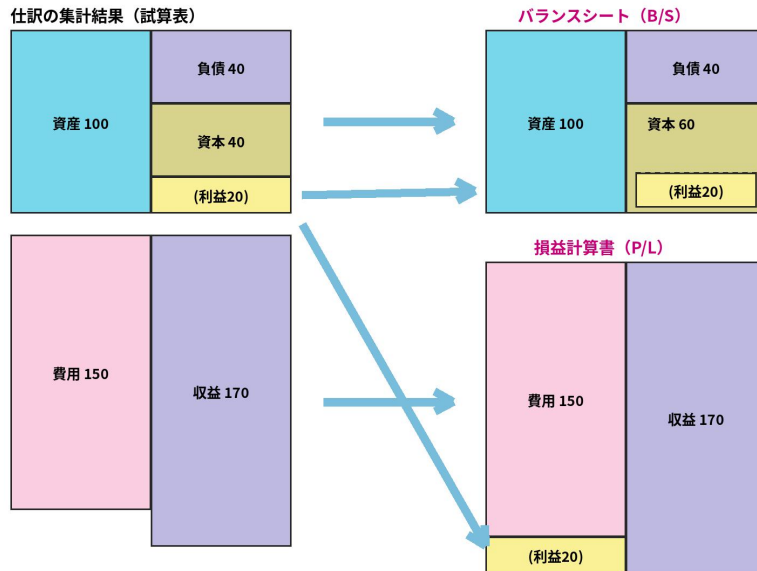


第 6 回の確認テスト（帳簿・伝票・試算表）

氏名： _____

問 1 次の勘定科目は「資産・負債・資本・収益・費用」のどれに当たりますか。空欄に記入しなさい。【10 問】

思い出しヒント：受け取る権利・持っている物・手元の小銭＝資産／支払う義務・預かった税＝負債／元手と積み立てた利益＝資本／『受取〇〇』＝収益／『〇〇費』＝費用



1. 小口現金	2. 売掛金	3. 備品	4. 買掛金	5. 未払金
6. 仮受消費税	7. 資本金	8. 利益準備金	9. 受取利息	10. 旅費交通費

問 2 次の取引の仕訳を書きなさい。【5 問】

科目：現金／売掛金／未払金／繰越利益剰余金／損益／通信費／旅費交通費／消耗品費

借方科目	金額	貸方科目	金額
問 1 入金伝票に「売掛金 30,000」と記入されている。この伝票が表す仕訳は？（ヒント：借方は必ず現金）			
問 2 出金伝票に「通信費 5,000」と記入されている。この伝票が表す仕訳は？（ヒント：貸方は必ず現金）			
問 3 タクシーの領収証（宛名は当社、3,200 円）にもとづき、現金で支払った。（ヒント：移動の費用）			
問 4 文具店からコピー用紙 8,000 円の請求書を受け取った。代金は翌月に振り込む。（ヒント：商品以外の後日払い）			
問 5 決算において、当期純利益 200,000 円を繰越利益剰余金勘定に振り替えた。（ヒント：P/L→B/S の橋）			

問 3 荒川商事の 9 月の取引です。①10 個の取引を仕訳し、②各科目の残高を集めて残高試算表を作成

科目：現金／普通預金／売掛金／備品／買掛金／資本金／売上／仕入／給料／通信費 残高＝借方合計－貸方合計

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
1 株式を発行し、株主から現金 500,000 円の払込みを受けた。 (ヒント：元手)			
2 現金 300,000 円を普通預金口座に預け入れた。 (ヒント：現金→預金)			
3 商品 200,000 円を仕入れ、代金は掛けとした。 (ヒント：後で払う)			
4 商品 150,000 円を売り上げ、代金は掛けとした。 (ヒント：後で受け取る)			
5 商品 100,000 円を売り上げ、代金は現金で受け取った。			
6 備品 80,000 円を購入し、代金は普通預金から振り込んだ。 (ヒント：持っている物)			
7 買掛金 120,000 円を普通預金から振り込んで支払った。 (ヒント：義務が減る)			
8 売掛金 90,000 円が普通預金口座に振り込まれた。 (ヒント：お預り側→普通預金が借方)			
9 従業員に給料 70,000 円を現金で支払った。			
10 電話代 10,000 円が普通預金から引き落とされた。 (ヒント：お支払側→普通預金が貸方)			

残 高 試 算 表 × 年 9 月 30 日 (借方合計＝貸方合計になれば合格)

借 方	勘定科目	貸 方
	現 金	
	普通預金	
	売掛金	
	備 品	
	買掛金	
	資本金	
	売 上	
	仕 入	
	給 料	
	通信費	
	合 計	

プラスα 余裕のある人はチャレンジ！【2 問】 (ヒントなし)

α1 小口現金の用度係に、小切手 50,000 円を振り出して前渡しした。

--	--	--	--

α2 売掛金 30,000 円が普通預金に振り込まれた際、誤って売上で記帳していた。訂正仕訳を行う。

--	--	--	--

解答

問 1 1 資産 2 資産 3 資産 4 負債 5 負債 6 負債 7 資本 8 資本 9 収益 10 費用

問 2

1. 現金 30,000 / 売掛金 30,000
2. 通信費 5,000 / 現金 5,000
3. 旅費交通費 3,200 / 現金 3,200
4. 消耗品費 8,000 / 未払金 8,000
5. 損益 200,000 / 繰越利益剰余金 200,000

問 3 仕訳

1. 現金 500,000 / 資本金 500,000
2. 普通預金 300,000 / 現金 300,000
3. 仕入 200,000 / 買掛金 200,000
4. 売掛金 150,000 / 売上 150,000
5. 現金 100,000 / 売上 100,000
6. 備品 80,000 / 普通預金 80,000
7. 買掛金 120,000 / 普通預金 120,000
8. 普通預金 90,000 / 売掛金 90,000
9. 給料 70,000 / 現金 70,000
10. 通信費 10,000 / 普通預金 10,000

残高試算表 借方：現金 230,000 / 普通預金 180,000 / 売掛金 60,000 / 備品 80,000 / 仕入 200,000 / 給料 70,000 / 通信費 10,000 = 830,000

貸方：買掛金 80,000 / 資本金 500,000 / 売上 250,000 = 830,000

プラスα

- α 1. 小口現金 50,000 / 当座預金 50,000
α 2. 売上 30,000 / 売掛金 30,000

【実務演習①】期末の実地棚卸から売上原価を計算する — 決算で会社がやる仕事

荒川商事株式会社（決算日 3 月 31 日）。3 月 31 日に倉庫の商品を数えたら、下の数量が残っていた。棚卸表を完成させ、売上原価を計算し、決算整理仕訳（仕入勘定で計算する方法）を書きなさい。

資料：期首商品棚卸高 150,000 円（前期末の棚卸表より） / 当期商品仕入高 900,000 円（仕入勘定の残高） / 当期売上高 1,300,000 円

棚卸表 ×年 3 月 31 日	数量	単価（原価）	金 額
A 品	30 個	@2,000	
B 品	50 個	@1,000	
C 品	20 個	@500	
期末商品棚卸高（合計）			

売上原価 = 期首商品棚卸高（ ） + 当期商品仕入高（ ） - 期末商品棚卸高（ ）
= （ ） 円

売上総利益（粗利）= 売上高（ ） - 売上原価（ ） = （ ） 円

決算整理仕訳（しくり・くりし）

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

【実務演習②】固定資産台帳から減価償却費を計算する — ソフトが自動計算している中身

荒川商事の固定資産台帳（当期：×4 年 4 月 1 日～×5 年 3 月 31 日）。定額法・残存価額ゼロ・間接法で、当期の減価償却費を資産ごとに計算し、合計額の決算整理仕訳を書きなさい。期の途中で買った資産は月割り。

資産名	取得日（使用開始日）	取得原価	耐用年数	当期の減価償却費（計算式も）
パソコン（備品）	×3 年 4 月 1 日	240,000	4 年	
営業車（車両運搬具）	×4 年 10 月 1 日	1,800,000	6 年	
土地	×2 年 4 月 1 日	5,000,000	—	
合 計				

決算整理仕訳（合計額で 1 本）

	借方科目	金額	貸方科目	金額

メモ：年間の減価償却費＝取得原価÷耐用年数（残存ゼロ）。当期の途中で使い始めた資産は「使った月数／12」を掛ける。減価償却しない資産が 1 つ混じっている。

【実務演習③】売掛金残高一覧から貸倒引当金を見積もる — 売掛金元帳を決算で使う

荒川商事の 3 月 31 日の売掛金残高一覧（売掛金元帳の得意先別残高）。期末残高の合計に 2% の貸倒引当金を設定する。決算整理前の貸倒引当金の残高は 4,000 円（差額補充法）。見積額・繰入額を計算し、決算整理仕訳と貸借対照表の表示を書きなさい。

得意先	3/31 残高	入金予定日（経理担当者のメモ）	回収の見込み（○／要確認）
A 商店	300,000	4/30	
B 商店	150,000	5/15	
C 商店	50,000	2/28（1 か月過ぎている）	
合 計			

貸倒見積額 = 売掛金合計（ ） × 2% = （ ） 円

繰入額 = 見積額（ ） - 決算整理前の残高 4,000 = （ ） 円

決算整理仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額

貸借対照表の表示： 売掛金（ ） 貸倒引当金（ ） 差引（ ） ← 回収できそうな金額

メモ：貸倒引当金は負債ではなく「売掛金のマイナス」。前期の残りがあれば差額だけ繰り入れる。C 商店のような入金遅れは、率で見積もる前に個別に確認するのが実務。